歴史や伝統 未来へつなぐ

砂山百周年記念新聞

砂山小学校6年生

令和3年11月30日

「ようこそ、先輩」～ステキなインタビュー～

100周年記念の今年、6年生は砂山小学校の歴史を調べる学習を進めています。その一環として、砂山地区老人クラブ連合会長佐野康男様のお力添えで、昭和17年度卒業生田中美佐子様、昭和26年度卒業生山本和夫様、昭和38年度卒業生村田登様、昭和43年度卒業生で元砂山小学校長鎌田卓子様、昭和45年度卒業生藤田久仁子様、昭和62年度卒業生坂本充弘様の8人の先輩方が砂山小学校に集まってくださりました。

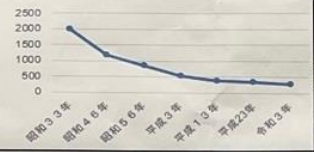
戦時中の和歌山大空襲の話から、当時の給食や流行していた遊び、修学旅行のことなど、6年生からの様々な質問に、答えてくださりました。砂山小学校の歴史を先輩方から直接聞かせていただくとってもステキなインタビューになりました。

令和3年11月1日に砂山小学校は100周年を迎えました

今年11月1日に和歌山市立砂山小学校は創立100周年を迎えました。11月30日には100周年記念式典を行いました。上は現在の砂山小学校の様子で、下は昭和9年の砂山小学校の様子です。校舎が全然違いますね！これから砂山小学校の100年の歴史や魅力などを紹介します。

砂山小学校の児童の人数の移り変わり

右のグラフを見ると砂山小学校の児童の人数が減少していることが分かります。一番多いときで2007人41学級だったらしいです！その後3分の1が今福小学校に移りました。昭和45年度卒業生の藤田さんによると、当時の砂山小学校のクラス数は学年8クラスあったそうです。昭和62年度卒業生の坂本さんのころは3クラスまで減少していました。現在は２９３人１４学級で、最高で2クラスです。



砂山小学校　校歌紹介

《砂山小学校校歌の作詞した人物》
作詞 高野 辰之（たかの たつゆき）
1876年(明治9年)~1947年(昭和22年)
長野県出身
日本の国文学者、作詞家
「春の小川」「春が来た」
「もみじ」　「ふるさと」
なども作詞しています。
砂山小学校以外にも100校近い
学校の校歌を手がけています。
《砂山小学校校歌の歌詞の秘密》
歌詞にある「わがどち」は仲間同士という意味だそうです。

《砂山小学校の校歌を作曲した人物》
澤崎定之（さわざき　さだゆき）
作曲家 1889年（明治22年）～
1949（昭和24年）和歌山県有田市
出身。文部省唱歌「お手玉」
や和歌山市の市歌を作曲しました。
海南市立黒江小学校歌など、日本各地の校歌の作曲も数多く手がけました。
編曲者は、北原　雄一（きたはら　ゆういち）さんです。北原さんは、数多くの曲を作曲するとともに、バスケットピンポンを生み出しました。

砂山小学校　校歌

1
虎伏山の　朝日かげ
わが学校を　照らすとき
ここにつどえる　わが同胞は
高き望みに　勇むなり

2
潮騒浜に　寄る波の
わが学校に　ひびくとき
ここにつどえる　わが同胞は
強き力に　勇むなり

3
かの紀の川の　濁りなき
清く明るき　心もて
瀬に汗を　流しつつ
誠に生きん　もろともに

すなやまめちしき！(*^^*)

昭和17年度卒業生の田中さんは、戦争をしていた時代に砂山小学校に通っていたそうです。戦争では、学校は焼けなかったようですが、和歌山城をはじめ砂山地区も焼けてしまったそうです。当時は食糧不足で給食もなかったそうです。戦争中でも学校には通っていたそうです。昭和38年度卒業生の村田さんの時代は、給食が始まっていました。ただ、今のような牛乳ではなく脱脂粉乳というものだったそうです。（左上の写真は、脱脂粉乳の写真です）脱脂粉乳はごく一般的な食材として食料品取扱店で流通しており、メロンパン、マフィンなどの菓子作りにも使われています。昭和45年度卒業生の藤田さんの時は、今のと近い三角パックの牛乳だったそうです。（右上は三角パックの牛乳の写真です）（脱脂粉乳は今に比べてあまり美味しくなく、残していた子もいたらしいです）

《砂山小学校に通っていた島正博さんと小久保裕紀選手》

紀州のエジソン、島正博さんは、昭和２３年度卒業の砂山小学校出身です。会社思いで、優しい方です。18歳でゴム糸安全手袋を発明して特許を取得したことをきっかけに、1962年に島精機製作所を創業し社長に就任しました。1964年に島正博さんが世界初の全自動手袋編み機の開発をしました。「SHIMASEIKI」が発明したホールガーメントとは、縫い目のないニットウェアのことです。一着まるごと編み上げるホールガーメントは人に地球にやさしいニットです。世界全体の横編機市場でトップシェアを誇り、ファッションブランドの衣服だけでなく宇宙服の開発にも使われています。フォルテワジマの体験コーナーでは自分でデザインし、自転車を漕いでニットを編んで、オリジナルのコースター、ストール、クッションカバー、手袋、マフラーなどを作ることができます。

小久保裕紀選手は、昭和58年度砂山小学校卒業の元プロ野球選手です。福岡ダイエーホークス・福岡ソフトバンクホークス、読売ジャイアンツに所属し、両球団で主将を務めました。現役時代は、日本一やリーグ制覇はもちろん、ホームラン王、打点王など、数々のタイトルを獲得し、２０１１年には通算４００本塁打、そして、２０１２年には２０００本安打を達成しました。現役引退後は、日本代表「侍ジャパン」の監督や福岡ソフトバンクホークスヘッドコーチを歴任し、来年度からは、福岡ソフトバンクホークスの２軍監督として若手選手の育成に取り組んでいます。

✨ 😊 先生紹介 😊 ✨

小杉栄樹校長先生です

優しく、時には厳しい先生です。あいさつ日本一の学校を目指していて、それに対して一生懸命に頑張ってくださっています。そして毎日校門前で挨拶をしてくださっています。とても努力家で剣道の経験者です！

【メッセージ】創立100周年おめでとうございます！100周年という記念すべき年に、砂山小学校に勤めることができた幸せに感謝します。そして、多くの先輩方が築いてくださった歴史と伝統を引き継ぎ、砂山小学校がもっともっとステキな学校になるよう、子供たちや保護者のみなさん、先生方と協力してがんばっていきたいと思います。

西川慶示教頭先生です

カルピスが好きで、トマトが苦手です。ノリがよくて、面白い先生です。いつも笑顔でみんなをニコニコ笑わせてくださいます。学校のことを影から支えてくださっています！

【メッセージ】校舎を見守ることも私の大切な仕事の一つですので、一つ一つの教室などを一番見回っている先生かもしれません。これからも、長い間お世話になった校舎への感謝の気持ちをもちながら、学校を見守っていきたいです。みなさんも、先輩方が積み上げてきた伝統を引き継ぎながら、さらに素晴らしい砂山小学校をつくっていってください。

6-1伊東快剛先生です

シチューが好きで、チョコが苦手です。みんなが楽しむ時間を大切にする遊び心がある先生です。児童会の担当をしてくださっています。

【砂山小学校】創立100周年おめでとうございます。100周年記念式典に向けて6年生全体で取り組んできたことで、この記念式典がさらに思い出深いものになりました。100年という歴史は【人の思い】が繋がってできています。自分たちも次の人に思いを繋げられるように、砂山小学校での日々を共に頑張っていきましょう。

6-2松島史明先生です

熱心でノリが良くて、最近結婚した幸せ一杯の先生です。昔は野球をしていて、肩もみをすると笑顔になります。

【メッセージ】砂山小学校創立100周年おめでとうございます。100周年という記念すべき瞬間を多くの方々と迎えられたことを誇りに思います。砂山の一員として、砂山小学校がより一層、地域に誇れるように、そして、何よりも子供たちの笑顔が溢れる素敵な学校を目指してこれからも努めていきます。

↑島正博さん初の製品

【島正博さんの少年時代の大発明や】
・アルミ板を折り曲げてニ重構造にした「さめにくい弁当箱」
・ハンドルと連動して同じ方向へ動く「車のヘッドライト」
・自転車の発電ランプをワンタッチで　動かすレバー
・自動車の方向指示器　　・緩みにくいボルト
☆「愛氣創造」（あいきそうぞう）という本も出しています。ぜひ読んでみてください！！

☆砂山小学校には小久保選手の2000本安打達成の記念樹（桜）があります。
☆フォルテワジマのスポーツ伝承館には小久保選手のコーナーがあります。
【小久保選手の名言】・「チームのスローガンは、若さでしょう。若い選手、若い監督で、世界一を目指していく、はつらつさを出していきたいですね」
・「外国から見て当たり前でないことが、当たり前のようにできているというのは日本が誇っていい部分だと思いますね」
・「本来は、動かない、我慢をするということの方が難しいし、そういった我慢が一番、監督に求められる部分だと思う」…など、たくさんあります。

◇地域の方々に支えられる砂山小学校◇

創立100周年記念式典に向けて、砂山小学校は、たくさんの地域の皆様に支えられてきました。校門前の三角公園の花植え、校内清掃活動、授業ボランティアなど、お世話になった地域の皆様、本当にありがとうございました。毎年秋には、感謝の気持ちを込めて、「ありがとう集会」を行っています。今後とも皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

砂山小学校創立100周年記念式典　令和3年11月30日

11月30日（火）に、「砂山小学校100周年記念式典」を開催しました。阿形博司和歌山市教育長様、松田盛夫砂山地区連合自治会長様、島正博島精機製作所会長様、大江嘉幸島財団理事長様、砂山小学校運営協議会委員の皆様、元育友会長様、元校長先生をはじめ、多くの方々がお祝いに駆けつけてくださいました。

卒業生を代表して、島精機製作所島正博会長様から、応援メッセージをいただきました。子供時代のエピソードを交えながら、「何事にも興味をもって熱中することの大切さ」を教えていただきました。

プロ野球福岡ソフトバンクホークス小久保裕紀先輩が、「一瞬に生きる」と題して記念講演を行ってくださいました。大谷翔平選手やイチロー選手、“ビッグボス”新庄剛司監督との交流やお母さんとの素敵な思い出、小学生時代の話等、どの話も興味深く、時間があっという間に過ぎてしまいました。「目標をもって努力すること。そして、失敗を恐れず、チャレンジすることの大切さ」そして、「挨拶をする、くつやいすをそろえることの大切さ」についてお話しくださり、小久保先輩と私たちとの約束としてくださいました。小久保先輩との約束を忘れません。

その後、6年生の合奏「RPG」合唱「いのちの歌」、全校児童での合唱「ありがとうの歌」を披露しました。心を込めてがんばりました。ご来賓の方々からも「ステキな合奏合唱だったよ」というお言葉をたくさんいただきました。

砂山小学校創立100周年記念壁画
WE LOVE WAKAYAMA

令和2年度卒業生が、創立100周年を記念し、正門近くに壁画を制作してくれました。自分たちの住む和歌山市や修学旅行でも訪れた紀南地方をイメージし、下絵から自分たちでアイデアを出し合い完成させることができました。とっても素敵な壁画が完成しました。「We　Love Wakayama」　私たちは和歌山が、砂山が大好きです。これらの壁画は、これからもずっと砂山小学校を彩ってくれることと思います。

もっともっとステキな砂山小学校にします！